

宇部工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)	授業科目	中国語 B
科目基礎情報					
科目番号	24017		科目区分	一般 / 選択	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	電気工学科		対象学年	4	
開設期	後期		週時間数	2	
教科書/教材	「理系学生のための中国語入門」(好文出版) ※中国語辞典は指定はしないが、あったほうが良い。				
担当教員	畑村 学,野村 和代				
到達目標					
1. 中国語をピンインと声調符号を使い、正しく読める。 2. コミュニケーションを取るのに必要な文法事項や語彙を習得している。 3. 学んだ内容を用いて、1分程度の自己紹介ができる。					
ループリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	中国語をピンインと声調符号を使い、8割以上読める。	中国語をピンインと声調符号を使い、7割以上読める。	中国語をピンインと声調符号を使い、6割読めない。		
評価項目2	コミュニケーションを取るのに必要な文法事項や語彙を8割以上習得している。	コミュニケーションを取るのに必要な文法事項や語彙を7割以上習得している。	コミュニケーションを取るのに必要な文法事項や語彙を6割習得していない。		
評価項目3	8割以上の学んだ内容を用いて、1分程度の自己紹介ができる。	7割以上の学んだ内容を用いて、1分程度の自己紹介ができる。	6割未満しか学んだ内容を用いることができず、1分程度の自己紹介ができない。		
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	第1学期に学んだ内容に新しい項目を加え、表現のバリエーションを広げていく。教科書の後半に進み、さらに詳しい自己紹介ができたり、コミュニケーションを取るのに必要な文法事項や語彙を学んでいく。				
授業の進め方・方法	週に2度、授業時に教科書を開くだけでは新しい言葉を自分のものにはできない。せっかく学ぶからにはきちんとマスターして欲しいので、家庭学習を重視する。授業中に学んだ内容をすぐに練習するという形で進め、より多くの問題をこなし、中国語の発想に慣れていってもらおう。				
注意点	第1学期からの継続なので、新しい言葉の習得にはやる気と根気が必要だということも実感できていることと思う。これからも地道に1つ1つの項目の積み重ねが重要で、一気に上手くなる事はないが、皆が思っている以上に、就職しても進学しても中国語を使う場面は多いし、コミュニケーション力を鍛える事は技術者としても社会人としても大切なことなので、頑張ってください。 提出物は平常点になるので、期限厳守で必ず出すように。テキストやプリントなど授業時に必要なものを忘れてたり、中国語以外のことをやっているとか減点の対象になるので、集中して授業に臨むこと。 授業時にきちんとやっていたら問題ないレベルの出題で試験を実施するので再試はしない。				
授業の属性・履修上の区分					
<input checked="" type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	第1学期の復習、第六課：ポイント・本文・単語・練習問題	当該の文法事項を理解し、新出単語を習得する。本文を発音できる。練習問題を解ける。	
		2週	第六課：ポイント・本文・単語・練習問題	当該の文法事項を理解し、新出単語を習得する。本文を発音できる。練習問題を解ける。	
		3週	第七課：ポイント・本文・単語・練習問題	当該の文法事項を理解し、新出単語を習得する。本文を発音できる。練習問題を解ける。	
		4週	第七課：ポイント・本文・単語・練習問題	当該の文法事項を理解し、新出単語を習得する。本文を発音できる。練習問題を解ける。	
		5週	第八課：ポイント・本文・単語・練習問題	当該の文法事項を理解し、新出単語を習得する。本文を発音できる。練習問題を解ける。	
		6週	第八課：ポイント・本文・単語・練習問題	当該の文法事項を理解し、新出単語を習得する。本文を発音できる。練習問題を解ける。	
		7週	第八課：ポイント・本文・単語・練習問題	当該の文法事項を理解し、新出単語を習得する。本文を発音できる。練習問題を解ける。	
		8週	中間試験	これまでの内容が理解できる。	
	4thQ	9週	試験返却、第九課：ポイント・本文・単語・練習問題	これまでの内容を振り返ることができる。当該の文法事項を理解し、新出単語を習得する。本文を発音できる。練習問題を解ける。	
		10週	第九課：ポイント・本文・単語・練習問題	当該の文法事項を理解し、新出単語を習得する。本文を発音できる。練習問題を解ける。	
		11週	第十課：ポイント・本文・単語・練習問題	当該の文法事項を理解し、新出単語を習得する。本文を発音できる。練習問題を解ける。	
		12週	第十課：ポイント・本文・単語・練習問題	当該の文法事項を理解し、新出単語を習得する。本文を発音できる。練習問題を解ける。	
		13週	第十一課：ポイント・本文・単語・練習問題	当該の文法事項を理解し、新出単語を習得する。本文を発音できる。練習問題を解ける。	
		14週	第十一課：ポイント・本文・単語・練習問題	当該の文法事項を理解し、新出単語を習得する。本文を発音できる。練習問題を解ける。	
		15週	定期試験	これまでの内容が理解できる。	
		16週	試験返却・解説	これまでの内容を振り返ることができる。	
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	0	0	0	0	40	100
基礎的能力	60	0	0	0	0	40	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0